



匙<sup>さじ</sup>なめて  
童<sup>わらわ</sup>たのしも  
夏氷  
山口誓子

算術の  
少年しのび  
泣けり夏  
西東三鬼<sup>さいとうさんき</sup>

お盆が過ぎると、いつまでも続くかのように錯覚していた夏休みもカウントダウンが始まり、2学期の始まりを意識しだす頃になります。そのようなときにふと目にとまった二つの俳句。どちらも夏の季語が入った句ですが、山口誓子の句は夏の始まり、西東三鬼の句は、夏休みの終りを迎えようとしている時期の句で、とても対照的で心に残ってしまいました。

夏休みは、子どもにとっても、親にとっても平常時には得難い経験ができることです。その経験をもとに、それぞれが成長を遂げ、元気に8月28日の始業式を迎えてほしいと思っています。もちろん、宿題が終わらずにしのび泣くことがないように残りの日々を大切にしよう御家庭でお声かけをお願いします。

## 大村市子ども議会

### 8/8 大村市役所大村市議会議場

8月8日(火)に大村市議会議場で「大村市子ども議会」が開かれました。市内の小学生5名、中学生7名が参加し、市政一般質問が行われました。子ども議員は、自らの視点から大村市の課題や将来のまちづくりについて質問し、それについて出席した市長や副市長、教育長、部長が答弁を行いました。

大村中学校からは1年の川久保芳晃さんが、少子高齢化や子育て支援について質問しました。少子高齢化により介護職の重要性を訴え、その育成等にどのように取り組んでいるのか、また、子供の数が減少しているという課題に対して、子育て支援にどのように取り組んでいるのかということについて質問しました。市長からは、大村市は50年間人口が増加し続けており、高齢化率も県内の他市町より低い現状があるが、将来的には高齢化の問題にも対応する必要がある、早めに対応を進めていること、子育て支援にも力を入れ充実させており、学童保育ではほとんど待機がない状態であるとの答弁を引き出しました。質問の最後には、自らも地域活動に積極的に参加していきたいと述べて質問を終えました。川久保さんは、自らの質問の後、議長を務め堂々とした態度で的確な進行をしました。

## PTA 保体部の皆様

### ありがとうございます！！

8月21日(月)各学級の給食用のエプロンの点検・補修を PTA 保体部の皆さんが行ってくださいました。エプロンの金具の部分や紐の部分の外れやすいため、補修をしていただいていた大変助かりました。次の補修は1年後です。給食当番の後にエプロンを持ち帰った際に金具が外れていたり、エプロンがほつれていたりした場合は、各御家庭で補修や修繕に御協力をお願いします。

## なりたい自分を思い描いて

実り多き2学期にするために、どのような自分になりたいのか明確なイメージを持ち、そのために何をすべきかを意識することが大切です。御家庭においてお子様と「対話」を行い、有意義な2学期となるように目標を家族で共有して始業式、実カテストに臨んでほしいと思います。